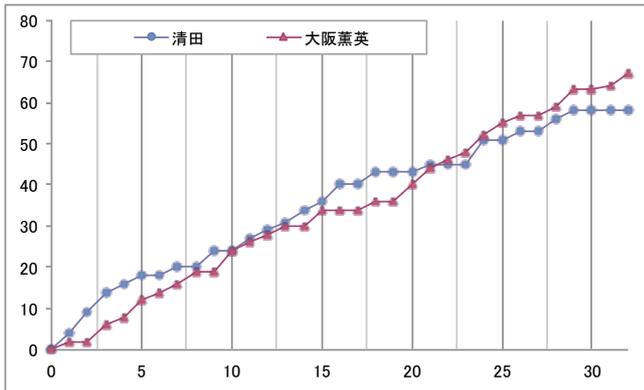




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																
会場	大野市エキサイト広場体育館																
日時	2016年8月23日(火) 16:10																
コート	OAコート 第6試合																
カテゴリー	女子選0リーグ第3試合																
主審	恩地 孝明																
副審	林原 潤																
TEAM A	TEAM B																
清田 (北海道)	58 ●	67 ○ 大阪薫英 (大阪)															
	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>7</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	20	1st	19	20	2nd	15	11	3rd	18	7	4th	15	-			
20	1st	19															
20	2nd	15															
11	3rd	18															
7	4th	15															
-																	

得点経過



BOXスコア

TEAM A		清田						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	小野寺 佑奈 (CAP)	×	28	2	7	8	1	
5	松橋 京香	×	14	2	2	4	4	
6	清實 茉宝	×	6	1	1	1	4	
7	清水 涼子	×	8	0	4	0	4	
8	山賀 南実	×	0	0	0	0	3	
9	前田 海咲	DNP	0	0	0	0	0	
10	井上 楓花	DNP	0	0	0	0	0	
11	藤井 乃冬香	/	0	0	0	0	2	
12	船水 結妃	DNP	0	0	0	0	0	
13	太田 梓	DNP	0	0	0	0	0	
14	川端 麻友	/	0	0	0	0	1	
15	宮村 月菜	/	0	0	0	0	2	
16	富永 直	DNP	0	0	0	0	0	
17	岩根 美羽	DNP	0	0	0	0	0	
18	手塚 美桜	/	2	0	1	0	1	
コーチ	高橋 和也							
合計			58	5	15	13	22	

TEAM B		大阪薫英						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	永野 真光 (CAP)	×	10	1	3	1	2	
5	桑原 友花	/	3	1	0	0	2	
6	柁宜 菜々葉	×	10	0	5	0	1	
7	妹尾 葵	×	8	0	3	2	3	
8	吉村 朋子	×	2	0	0	2	0	
9	上田 真由	/	8	0	2	4	0	
10	東根 いち乃	/	2	0	1	0	1	
11	崎生 菜花	DNP	0	0	0	0	0	
12	青木 遥	DNP	0	0	0	0	0	
13	松山 紗	DNP	0	0	0	0	0	
14	佐藤 瑠菜	/	0	0	0	0	1	
15	前田 芽衣	×	16	0	7	2	0	
16	和田 菜奈	DNP	0	0	0	0	0	
17	辻畑 有咲	DNP	0	0	0	0	0	
18	西村 香凜	/	8	0	4	0	2	
コーチ	市川 藤乃							
合計			67	2	25	11	12	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

北海道ブロック1位と近畿ブロック1位の対戦。両チームマンツーマンDefでスタートする。清田#4のドライブイン、ミドルシュートで4点先制。大阪薫英は#6のミドルシュートで2点を返す。清田はその後、#5の3Pなどで引き離しにかかるが、大阪薫英も#9、#7、#15のフリースローによる得点でついていく。1Qから両チームとも激しいDefを仕かけ、見ごたえのある熱戦となり、清田20-19大阪薫英で終了。2Q立ち上がり、清田#4のシュートで始まるが、その後大阪薫英は#5の3Pで24-24の同点とする。しかし、清田も#5が3Pを決め、再び清田が27-24でリードする。その後、大阪薫英#8のフリースロー、清田#4の3Pなど、両チーム点数を取り合うシーソーゲームの展開となり、清田40-34大阪薫英で2Q終了。3Q、互いにハーフコートマンツーマンDefでスタート。清田は#4の3Pで加点するが、大阪薫英もセットオフでスクリーンプレーを仕かけながら、粘り強くシュートを決める。3Q残り4分を切り、大阪薫英#6の速攻、#18のシュートで1点差、残り2分に#15のシュートで46-45と逆転する。清田は#4のシュートで対抗するが、大阪薫英52-51清田で3Q終了。4Q、大阪薫英#4の3Pが決まり、4点差。さらに#6のシュートで61-56の5点差がつくと、清田はたまたまタイムアウトを取る。必死に食い下がるが、大阪薫英の#9がフリースローを決め65-58とし、最後はそのまま振り切り、大阪薫英67-58清田で試合終了。大阪薫英の粘り強いチームDefと正確なシュート力が光った見ごたえのある一戦であった。

、 記者者 兼井 則和 (所属) 福井県中体連バスケットボール専門部